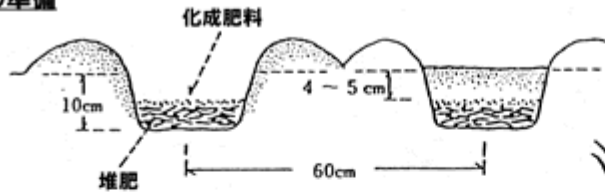


ショウガの栽培方法

インド・マレー原産。高温・多湿を好み、乾燥するとたいへん育ちが悪くなる。初期の育ちが極めて悪い。土壌病害が出やすく連作できない代表的な野菜である。

畑の準備

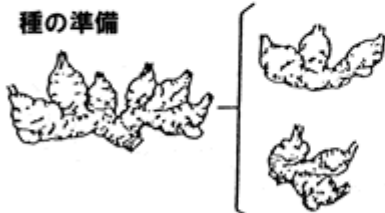


深さ10cmの溝を掘り、元肥を入れ、種ショウガに直接肥料がふれないように4~5cmの土をかえしておく

ショウガは、初めの育ちがごく遅いので、タマネギなどの間作に植え付けることができる

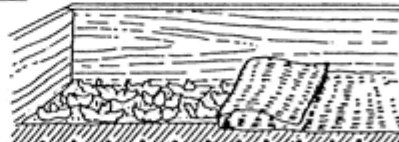


種の準備



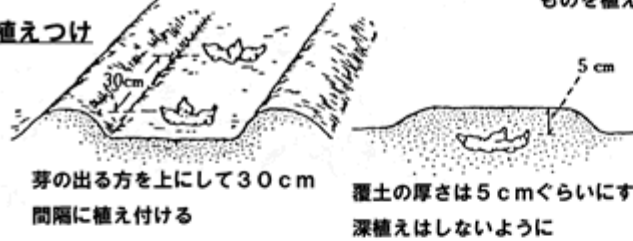
肉づきがよくて、しおれたり病害に犯されたりしていない、健全な種ショウガを選ぶ。目を三つくらいつけた、重さにして60~70gに分割して植え付ける

芽出し



芽の出るのが遅いので、あらかじめ電熱加温のできるフレーム内に並べ、水を与え、ムシロをかけて保温し、芽出したものを植えると早く育つ

植えつけ



芽の出る方を上にして30cm間隔に植え付ける

覆土の厚さは5cmぐらいにする。深植えはしないように

収穫



つけ根から折って筆ショウガとして利用する
肥大して新しいショウガとなる

種ショウガ
古根として利用できる

追肥と土寄せ



5月下旬頃から20日おきぐらいに2~3回追肥する。そのあと軽く土寄せする

乾きに弱いので、夏に入る前に株元に敷きワラをする



秋には新しいショウガが大きく育ってくる